

お知らせ

平成 30 年 3 月 30 日  
九州電力株式会社

玄海及び川内原子力発電所の平成 30 年度新燃料等の輸送計画をお知らせします  
— 新燃料の受入及び低レベル放射性廃棄物の搬出を計画 —

平成 30 年度の新燃料、使用済燃料及び低レベル放射性廃棄物の輸送計画について、下記のとおりお知らせします。

記

1. 新燃料（受入）

(1) 玄海原子力発電所

発電所名		輸送数量	輸送時期	燃料加工会社
1 回目	玄海 4 号機	66 体	第 2 四半期	三菱原子燃料(株)
2 回目	玄海 3 号機	28 体	第 2 四半期	原子燃料工業(株)
3 回目	玄海 3 号機	34 体	第 3 四半期	三菱原子燃料(株)
	玄海 4 号機	36 体		
4 回目	玄海 4 号機	56 体	第 4 四半期	原子燃料工業(株)

(2) 川内原子力発電所

発電所名		輸送数量	輸送時期	燃料加工会社
1 回目	川内 1 号機	16 体	第 1 四半期	原子燃料工業(株)
2 回目	川内 1 号機	8 体	第 2 四半期	原子燃料工業(株)
	川内 2 号機	48 体		
3 回目	川内 1 号機	40 体	第 2 四半期	三菱原子燃料(株)
	川内 2 号機	24 体		

2. 使用済燃料（搬出）

なし

3. 低レベル放射性廃棄物（搬出）

発電所名	輸送数量	輸送時期	搬出先
玄海	輸送容器 60 個 (ドラム缶 480 本)	平成 30 年 6 月	日本原燃(株) 低レベル放射性廃棄物埋設センター
	輸送容器 171 個 (ドラム缶 1366 本)	平成 31 年 1 月	
川内	輸送容器 40 個 (ドラム缶 320 本)	平成 31 年 2 月	

注) 現時点での計画であり、今後変更になる可能性があります。

(参考)

【使用済燃料】

運転のための燃焼（核分裂）を終了し原子炉内から取り出した核燃料

【低レベル放射性廃棄物】

原子力発電所の放射線管理区域内で発生した、放射能レベルの低い、金属片や廃液等の廃棄物をドラム缶に収納したもの

以上

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」  
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。  
それが、私たち九電グループの思いです。